

一宮の水と環境を守る会

市町村名 周智郡森町

地域	一宮地区一円		代表者名	榊原淑友	活動期間	平成20～24年度		
協定面積 (h a)	水田	115.80	対象面積 (h a)	水田	115.80	対象資源	数 量	
	畑	1.10		畑	1.10	農用地	116.9ha	
	草地			草地		開水路	22.1km	
	計	116.90		計	116.90	パイプライン	22.3km	
主要作物	水稻		参加団体	農業者 部農会(米倉・大久保・片瀬・赤根・谷崎・宮代西部・宮代東部) 一宮水利組合 町内会(谷崎・米倉・大久保・片瀬・赤根・宮代西・宮代東) 一宮地区社会教育推進協議会 磐田用水東部土地改良区				
構成員	農業者	非農業者	計	ため池				2箇所
人 数	16	17	33	農道				18.1km
				事業費(年)				5,126,000
主な活動内容	(基礎部分) ・遊休農地等の発生状況の把握 ・施設の点検 ・共同作業計画の策定 ・草刈り ・配水操作 ・定期的な見回り ・かんがい期前の施設の清掃、徐塵 ・管理道路の管理 他		(農地・水向上) ・施設の機能診断 ・診断結果の記録管理 ・年度活動計画の策定 ・きめ細やかな雑草対策 ・通水試験の実施 ・ゲート類等の保守管理の徹底 他		(農村環境向上) ・景観形成、生活環境保全計画の策定 ・広報活動 ・地域住民等との交流活動 ・施設等の定期的な巡回点検、清掃			
地域の概要	当該地区は、昭和56年～62年に県営ほ場整備事業により、区画整理(30a)、用水路のパイプライン化、排水路整備がされ、計画的な水配分や生産調整が可能となり、集団的な営農が進められてきている。しかし、近年の農業情勢や担い手の不足、農業者の高齢化などにより、地区内の農用地・農業用施設の保安全管理が難しい状況になってきている。							
目指すべき方向	農業用水(パイプライン)を管理する一宮揚水機場水利組合が中心となって、地域住民と連携する新たな組織をつくり、地域の環境保全活動を推進していく。			農用地 法面の草刈り				
活動の感想	戸惑いながらの一年であったが、各集落で点検をし問題点を挙げ、その対応について定期的に話し合いを持つように心がけた。その結果、役員を始め、地域住民にも地域を見つめ直すきっかけとなり、積極的に事業に取り組めるようになった。							
課題	近年、イノシシによる被害が目立ってきているため、電柵設備を設置していきたいが、広範囲に亘るため設置場所など調整を検討する必要がある。また、集落数が多いため打合せ等の日程調整が難しかったが、組織内で新たに事務について決まりを作り、スムーズな事務・事業が進められるように検討していきたい。			鳥獣害防護柵の適正管理				
抱負・コメント	今後は農村の持つ多面的機能や、生き物の多様性を育む豊かな環境を守っていくことを小学校とも連携しながら、地域全体で進めていきたい。							
				レンゲ播種				

農用地 法面の草刈り

鳥獣害防護柵の適正管理

レンゲ播種